

第48回 ITER機構職員募集説明会でのQ&A

1. 日時・場所

平成23年10月22日(土)

茨城県那珂市日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所(那珂核融合研究所施設見学会)

2. 来訪者: 8名

3. 説明概要:

日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所施設見学会において、来訪者に核融合、ITERなどに関する資料を配布し、ITER計画について説明するとともに、ITER機構職員募集および登録の案内を行った。(ITER協力調整グループ 安東、北澤)

4. 主なQ&A

Q: ITERの目的は何ですか？

A: ITERは、平和目的の核融合エネルギーが科学技術的に成立することを実証するため、人類初の核融合実験炉を実現しようとする超大型国際プロジェクトです。ラテン語の道や旅という意味も兼ねる「ITER」には、核融合実用化への道・地球のための国際協力への道という願いが込められています。ITER計画は、2019年ごろの運転開始を目指し、日本・欧州連合(EU)・ロシア・米国・韓国・中国・インドの7極により進められています。ITER計画は、国際協力における前例のない挑戦です。そこには、世界最先端の研究計画のために英知が結集されています。この国際協力は1985年ジュネーブでの米ソ首脳会談をきっかけとして開始されました。

Q: ITERではどのような人材が求められていますか？

A: イーター機構が募集するポストは、核融合に関する職務経験がある研究者・技術者ばかりでなく、機械系、電気系の技術者、プラント建設の経験を有する技術者、国際プロジェクトの経験者など、幅広く人材を求めています。

Q: ITERでは使用済み燃料は出ないのですか？

A: 核融合では、水素が燃料で、核融合によりヘリウムになるときにエネルギーが取り出されます。原理的には、現在の原発で発生するような使用済み燃料は発生しません。しかし、燃料で用いられる水素の同位体のトリチウム(三重水素)は、放射性物質なので厳重な管理が必要です。また、核融合炉でプラズマに接する部分が放射化するので、その管理も必要となります。

Q: ITER機構では、英語やフランス語はどの程度必要でしょうか？

A: ITER機構での業務は英語が公用語なので、日常業務を行える英語の能力は要

求されます。しかし、TOEICのスコアなどの客観的な数値は示されていません。また、フランス語は、業務では必要とされてはいません。ITER機構の職員やその家族に対して、フランス語を学ぶためのコースが用意されています。

Q: ITER機構の職員募集情報はどこを見ればよいのですか？

A: ITER 機構の職員募集は、不定期に ITER 機構のホームページに掲載されます (<http://www.iter.org/jobs>)。このホームページ上で、現在募集中のポストやその職務に関する情報(Job Details)、募集のプロセスに関する説明などを見ることができます。募集されたポストの職務に求められる要件とご自分の経歴などを照らし合わせたうえで、応募をご判断いただきます。また、応募にあたり、同ホームページ上で、所定のフォームにご自分の情報を入力し、ITER 機構へ送信すれば手続きは完了します。

Q: ITER機構の職員募集の面接試験は、どのように行われますか？

A: 応募後、ITER 機構による書類審査に合格すると、次に ITER 機構が行う面接による審査を受けます。面接は、ITER 機構の複数の面接者とテレビ会議システムを用いて面接することになります。テレビ会議で面接を行うのは、世界中のどこからでも平等な条件で面接を受けられるようにするためです。

この面接審査に対する支援として、原子力機構が実施している登録制に加入していただきますと、模擬面接ビデオを閲覧することもできます。また面接審査の対象の方の希望により、面接のトレーニングも行っています。登録制への加入方法については、下記の URL をご覧下さい。

http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/boshu_midashi1_information_system.html

以上



那珂研究所施設見学会の展示エリアの様子(1)



那珂研究所施設見学会の展示エリアの様子(2)